



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

95.10.3 No. 4269

熱気あふれる討論—大会2日目

許すな! JR体制の不当労働行為 勝浦運転区廃止阻止の闘う方針確立!

動労千葉第二回定期大会、二日目の議事は、前日に引き続き笠森保養センターにおいて開催され、事業部運動の強化について、法廷闘争の強化と取り組み、そして九五年度予算(案)までの提起を受け、一括して質疑応答に入った。

質疑で出された主な意見・質問

結実するはばたこう運動!

※分割・民営化十年目を見据えた、勝浦運転区廃止攻撃という大変な時期を迎えたという認識をしている。しかながらわれわれは勝浦運転区存続の大署名運動を展開し、大きな展望を切り拓いてきたと確信する。実際、統一行動で回った、勝浦市民の反応は非常に良かった。発足し

原点にかえって闘おう 中野委員長総括答弁

各支部からの意見を聞いて、十二・一ダイ改までどういう闘いをやっていくのか話したい。解雇撤回闘争は、分・民以降一枚岩だった政府・JR・JR総連の国労・動労千葉を解体するという動きに分裂が生まれた。向こうの意図は国鉄の闘いを串刺しでつぶしたいということだが、清算事業団の闘いが、今の状況を切り開いてきたのだ。風向きが変わろうとするころいうときこそ、労働組合とは何なのかという原点にかえることが大事だ。労働組合は、資本の攻撃に対して団結する機能と、労働者が労働者としての誇りをもつてどうやって生きていくの

た動労千葉議員団こそが、地域に根ざした運動を展開する核になれるものだ。

※大失業時代の到来、戦後最大の失業者数といわれるが、なかなか現場にいるとそれが見えてこない。職場の中でどう展開すべきかと考える。

※九五年は、阪神大震災、オウム事件の発生と、暗い世相・時代を反映する波乱の幕開けであったが、統一地方選挙における勝浦・水野、船橋・中江、そして御宿・中村選挙闘争の勝利によって、明るい日差しが見えたと思う。その九五年闘争の締め括りとしての、勝浦運転区廃止攻撃を断固として粉碎したい。

二月ダイ改闘争

※一二月ダイ改の見通しだが、

かという団結をつくりだす場でもある。動労千葉は、一人の人間としてどう生きていくのか、たいへんな経験を、また学んできた。今回、勝浦支部として培われた団結力がつぶされるということが一番大きな問題だ。選挙も、組合で議員もっているところはほとんどなくなっているなかで、周りは驚いている。勝浦廃止問題は不当労働行為として、地労委に申し立てを行い闘う。そして十一・五労働者集会へ。大失業時代と闘う労働者と結束しなかつたら力にならない。これからは力だ。方針と数だ。組合員の総決起を訴える。

館山運転区では一仕業減の提案となつている。これに伴う転勤問題が発生した場合には、前回ダイ改の経緯も含めて断固とした闘いを対置すべきだ。

※千葉駅三・四番線ホームの撤去は、完全な鴨川運輸区がらみの労務政策優先の攻撃だ。断じて許しがたい。乗務員の運用面からいっても、縮小しても現在のホームに残すべきだ。また多客を理由とするなら、七・八番線のようにホーム上に新設すべきだ。

※鴨川の検査詰所が手狭となつている。一人にひとつの机もなというのが実態だ。運輸区新設に伴って、現在の広さを改善する増築を求めたい。

※基地廃止攻撃という情勢下で、水野選挙闘争の勝利を勝ちとり、勝浦市全域を回つての署名活動を通して、地方交通線の切り捨てー過疎化にさらされている市民の声を実感した。この選挙・存続署名で培ってきた成果を、一二月ダイ改闘争にどう反映させていくのかが問われている。

貨物合理化阻止の闘い

※貨物においては、次期ダイ改で、貨物ルートを京葉線ルートに移すと言われている。これによると現行の三時間近くかかっている運行時間が、京葉ルートでは五六分程度にまで縮減される。この大幅な所用時間の短縮は、乗務員の大削減につながるのではないかと危惧している。佐倉では、国鉄時代から廃止の噂が組上に上つていた。現場は

JR発足時五七名いた要員が、今では二〇名と削減されている。四〇%の減だ。また検修要員の合理化(一名減)が計画されているのか?新小岩、佐倉、貨物での動労千葉の拠点支部を堅持していきたい。

※動常勤制度改悪反対の闘いを押し進めてきた。貨物の赤字決算→フレイト二一によって、貨物の将来展望はどうなのか?九七年度、京葉線への貨物ルート変更に伴って基地問題→新小岩・蘇我の業務内容、要員配置はどうなるのか?

※業務上のことだが、東日本からの連絡事項が遅い。運転保安上問題が多い。貨物支社で止まっているのか?実際に連絡が遅

一九九五年度役員体制

役職名氏	年令	職名	支部
執行委員長 中野 洋	五五	運転士	千葉
副執行委員長 布庭 宇一	五三	運転士	千葉
書記 長 田中 康宏	三九	車両係	津田沼
執行委員 高石 正博	四九	運転士	津田沼
白井 敏行	五二	運転士	千葉
山田 雄一	三七	車両係	幕張
川崎 昌浩	三六	車両係	津田沼
滝口 誠	五二	営業係	総武
赤羽根 宣男	四九	営業指導係	館山
佐藤 博	四五	営業指導係	総武
清水 匠	三九	事務係	佐倉
中村 栄一	三五	運転士	千葉
佐藤 正和	三五	運転士	新小岩
山田 魁	五〇	主任運転士	新小岩
鈴木 貴雅	三六	運転士	銚子
花崎 薫	三四	運転士	館山

分・民十年目の見直し攻撃粉砕!

いのか? 対処してもらいたい。
貨物会社には、分割・民営化の矛盾が象徴的に現われている。断固とした闘いでこれを粉砕したい。

解雇撤回闘争

※東京高裁での、一・二波の和解勧告とはどういう内容なのか? 全員の解雇撤回を勝ちとり、原職奪還に向け、さらに取り組みを強化したい。

出向攻撃との闘い

※方針書にも出されているが、出向協議会の活動について、出向先での労働条件の確立、出向先でのさまざまな問題に対して、労資間協議の場の確立は急務だ。出向者は、「出された」という気持ちがある。また、今までと全く職場環境が違う出向先企業の中に自然と埋没してしまう。これを払拭しないと疎外され抑圧されてしまう。動労千葉の出向者のモデルケースとして奮闘してきた。貴重な人生経験をさせてもらったと考えている。その意味からいっても動労千葉にいて良かったと思う。六〇才までやれるという自信が芽生えた。※東日本からの出向者は、仕事内容について詳細な協定を結んでいるが、貨物会社についてはその点がいまいちなものとなっている。今後のこともあり、同様の出向条件の確立をしてもらいたい。

※五才原則出向をやめさせ、六〇才まで安心して働ける労働条件を確立してほしい。また五五才以上の給料、手当等についても、貨物会社の労働条件は東日本よりも低いというのが実態だ。改善を求めたい。

強制配転者の原職奪還の闘い

※分割・民営化以降現在に至るも、営業への強制配転者は銚子においても十名がいる。そのうち七名は運転士資格保持者だ。任用の基準などという塩づけは断じて許せない。なんとしても風穴をあけたいと考える。

※強制配転問題も来年で一〇年目を迎える。そして土職登用差別も共に歩んできた。人生にとっても一番いい時期を、「塩づけ」にされたという失ったときを思う。矛盾を感じる。怒りは大きい。全員が配転者・予科生で構成された総武支部は、一方で営業で地歩を占めてきている。支部結成時の理念である、原職奪還による発展的解消を目指し、一〇年目に向け決意を固めている。

共闘の取り組み

※スローガンにもあるが、JR体制が揺らぎはじめた。これは動労千葉が分割・民営化反対の旗を降ろさず、不屈に、血を流して闘い抜いた成果だと実感する。物販闘争で県下を回ると感じるが、動労千葉は決してロー

カルな組合ではない。切々とした期待を実感する。こうした動労千葉のように闘おうという潮流を、大きく地域においても作っていききたい。

※銚子では、地域との組合の關係において、地区労働散による参加単産二五組合(連合未加盟一〇単産)、地区労センターに変わる組織として、銚子地区労働会議を結成し、全二五単産全てが加盟した。この十月二十七日の新役員体制に銚子支部も常任幹事を出し、地域の中に動労千葉の存在を発揮していきたい。

制度要求

※試験制度を廃止し、自動昇格などの制度改善を要求すべきだ。

また全ての人が七職になって五才を迎えられるようにしてもらいたい。

人間ドックについて、貨物会社では本人以外は受けられないことになっている。東日本では家族も受診できることになっている。同様の制度要求をすべきだ。

等々、活発な、そして腹藏なく忌憚のない質疑が行なわれ、総括答弁を含めて、一二月ダイ改闘争を中心とした闘いに向けた、意志統一がなされた。

続いて、ストライキ権確立が批准された。

そして委員選出では、立候補した役員全員が信任を受け、た

だちに闘いに向けた体制が確立された。

「JR体制」の危機を打て!

今次、「一二月ダイ改」に象徴的に現われた、「JR体制」の根本的な危機を打て! 不当労働行為の上に築かれる、鴨川運輸区を断じて許すな!

JR体制包囲網をより強固にし、質を変え、瓦解する敵の体制を激しく揺さ振る、労働組合の闘いの原点に起つストライキを基点に、自在に揮われる進化した闘いを対置しよう!

同様の原点に起つ、大失業時代に反対する労働運動の新たな潮流を、さらに大きく逞しく創造しよう! 一・五労働者集会の成功へ向け、そして九五冬季物販闘争の勝利に向け、全組合員は全国にむかつて声高らかに進撃しよう!

祝電・メッセージ紹介

順不同
敬称略

- ・千葉県交運
- ・運輸労連千葉県連合会
- ・全水道千葉県水道労組
- ・千葉労働者福祉協議会
- ・千葉交通労組
- ・小湊鉄道労組
- ・全電通千葉県支部
- ・新京成電鉄労組
- ・全通千葉地区本部
- ・千葉中央バス労組
- ・日東交通労組
- ・千葉県労働金庫
- ・全建総連千葉県連合会
- ・全日通千葉県支部
- ・東京一般エム・シー形鋼分会
- ・川崎製鉄千葉労組
- ・千葉内陸バス労組
- ・東京東部労組
- ・川崎市職清掃支部
- ・阪東バス労組
- ・スタンダード・パキエム自主労組
- ・杉並障害者福祉会館運営協議会
- ・労働組合(障福労)
- ・金属機械精工会労組
- ・キング観光バス労組
- ・東京ベイシティ交通労組
- ・全金本山労組
- ・長野食品製造労組
- ・北陸リコー労組
- ・福岡県労組交流センター
- ・北陸労組交流センター
- ・三重労組交流センター
- ・福島労組交流センター
- ・神奈川労組交流センター
- ・東京労組交流センター代表
- ・三角忠、岩本正治
- ・北富士忍草母の会
- ・関西新空港反対泉州住民の会
- ・国労小倉闘争団日豊オログ団
- ・日本社会党千葉県本部
- ・執行委員長 小岩井清
- ・参議院議員 赤桐操
- ・千葉県議会議員 堀江はつ
- ・館山市議会議長 辻田実
- ・成田市議会議員 足立まちこ
- ・泉佐野市議 國賀祥司
- ・動労西日本
- ・顧問弁護団 葉山岳夫
- ・顧問弁護団 一瀬敬一郎
- ・争議団連絡会議
- ・婦人民主クラブ全国協議会
- ・部落解放同盟全国連合会
- ・委員長 瀬川清
- ・部落解放同盟茨城県連合会
- ・部落解放同盟長野県連(準)
- ・全日本学生自治会総連合
- ・新たな潮流の形成に向け共に闘うことを誓い感謝申し上げます